

夏季デッサン講習会 第1期 7/20～7/22 第2期 7/23～7/25

本年度は、武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科の鈴木 洋先生の指導のもと、生徒数 84 名が参加しました。今回は、静物「レンガ、ゴムベルト、ポテトチップスの袋、テニスボール」をモチーフに、2日間の計12時間を使って最後まで描きあげ、3日目には、全学年合同での講評会を行いました。講師の先生のアドバイスに耳を傾けつつ、学年や科の枠を越えた活動によって、多くの生徒が互いに刺激を与え合いながら各々の技術を高めることが出来ました。また、造形活動の基礎としてのデッサンの重要性や、今後それぞれが取り組むべき課題など、改めて考えさせられる講習会となりました。



講評会の様子

多摩美術大学高大連携特別授業 7/18 ガイダンス(全員参加) 7/27～30

本校は多摩美術大学と高大連携事業を展開しています。本年度は下のような内容で授業を組んで頂き、生徒10名が参加しました。美術大学のキャンパス内で作品の制作をする中で、大学進学を考えている生徒たちの進路理解にも大きく役立ったと好評でした。

- 版画コースⅠ（木版） 3名
- 版画コースⅡ（リトグラフ） 1名
- テキスタイルデザインコース ①バナナと古着で糸を作る、布を作る。
②和紙に型染をする。
6名